



グスタボ・カルヴァリョ
GUSTAVO CARVALHO
電子エンジニア・特許スペシャリスト

+55 21 3550 3774
+55 21 97595-3659
gustavo.carvalho@lickslegal.com

業務分野

- 特許
- コンピュータプログラム
- サイバーセキュリティとデータ保護

言語

- ポルトガル語
- 英語
- 中国語
- フランス語

Gustavo Carvalhoは、2018年にLicks特許法律事務所リオデジャネイロ事務所へ入所したエンジニアです。電子工学分野の研究者として、現在は信号（画像と映像）処理およびコンピュータビジョンを研究分野としています。

所属

- 工学・農学州会議 — セルジッペ州 (CREA/SE)

学歴

- ジェトゥリオ・バルガス財団 (FGV) 経営分析およびビッグデータ、経営学修士号 (MBA) (現在)
- ジェトゥリオ・バルガス財団 (FGV) 経営管理、経営学修士号 (MBA) (2017年)
- リオデジャネイロ連邦大学 (UFRJ) 電気工学博士号 (Ph.D) (2015年)
- リオデジャネイロ連邦大学 (UFRJ) システム・コンピューティング工学修士号 (M.Sc) (2009年)
- リオデジャネイロ連邦大学 (UFRJ) 電子・コンピューティング工学学士号 (B.Sc) (2005年)

主な功績

雑然とした産業環境下のリモート点検用ロボットシステムのプロトタイプ開発を目的としたDORISプロジェクトで、研究者を務めました。このプロジェクトは2017年にブラジル石油庁 (ANP) から技術イノベーション賞を受賞しました。

執筆・論文

- マルチスケール映像解析を使用する移動カメラでの異常検知. 多次元システムおよび信号処理(オンライン). 2018.
- 混雑の環境において放棄された物体検出のための注釈付きの映像データベース(2014 国際電気通信シンポジウム (ITS)に掲載). 2014.
- 放棄された物体のリアルタイム検出のためのイメージディスクリプタの比較および最適化(信号処理シンポジウムに掲載). 2014.
- 監視システムのための移動カメラを使用するリアルタイム物体検出(第31回ブラジル電気通信シンポジウムに掲載). 2013.
- 海洋施設用監視ロボット(OTC Brasillに掲載). 2013.
- LaSca: 大規模グループ意思決定支援システム. ユニバーサルコンピュータサイエンスジャーナル(オンライン), v. 16, 2011.
- 2016年リオオリンピックのための大規模グループ意思決定MUTIRÔプロジェクトにおけるロケール類似性セマンティック検索(第15回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議(CSCWD)に掲載). 2011.
- MUTIRÔプロジェクトにおける2016年リオオリンピックのための大規模グループ意思決定(第14回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議に掲載), 2010.
- LaScaを用いる国際スポーツイベント中の治安の編成(第14回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議に掲載), 2010.
- LaScaを用いる工学、哲学、および民主主義のコラボレーション(第13回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議に掲載), 2009.
- LaSca: 大規模グループ意思決定支援システム(第12回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議に掲載), 2008.
- 参加型環境設定における大規模意思決定(第11回デザインにおけるコンピュータ支援協調作業に関する国際会議に掲載), 2007.
- ウェブサーバで制御された無線を介する画像送信(エレクトロニクス・ウィークに掲載), 2004.